

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年3月11日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日	備考
1	<p>【既設および増設多核種除去設備処理水移送ラインの連絡弁からのシート漏えいについて】 既設多核種除去設備の処理水受タンクにおいて、処理水の移送停止中にもかかわらず、タンクの水位が上昇していることを確認。 現場調査の結果、既設多核種除去設備の処理水移送ラインと増設多核種除去設備の処理水移送ラインとを連絡する弁がシート漏えいしていることを確認。 原因は、増設多核種除去設備の処理水移送を行っていた際、この弁を介して既設多核種除去設備移送ラインに増設多核種除去設備の処理水が流れ込み、タンクの水位が上昇したものと推定。 今後、処理水移送の停止時に弁交換を実施予定。</p>	X	3月4日	2020.3.30再審議にてグレード変更 GⅢ→X 理由：詳細に調査したところ、漏えいは弁が全閉されていないがため。
2	<p>【第三セシウム吸着装置のドレン中継タンク下部のにじみについて】 第三セシウム吸着装置のドレン中継タンク下部よりのにじみを確認。 現場確認の結果、タンク下部にピンホールが確認されたため系統水と判断。 約10分／滴の滴下があるため、タンク下部に受けを設置済み。 滴下した水は堰内のため外部への流出はなし。 今後、タンク内部を確認し、対応方針を検討予定。</p>	GⅢ	3月9日	
3	<p>【1号機 空気圧縮機室空調機(A)(B)のVベルトの不具合について】 1号機 空気圧縮機室空調機の点検前現場確認において、空調機(A)のVベルトの伸び、および、空調機(B)のVベルト破損を確認。 いずれも経年劣化によるものと推定。 当該空調機(A)(B)を停止してVベルトを交換し、運転確認を実施済み。</p>	GⅢ	3月5日	